

第76号

# 看護連盟いわて

■発行所／岩手県看護連盟  
 〒020-0021 盛岡市中央通3-11-6  
 グランディール中央3F  
 TEL／019-625-7666  
 FAX／019-625-7637  
 E-mail／kanren-iwate@eins.rnac.ne.jp  
 ■発行責任者／小林 長子  
 ■印刷所／永代印刷(株)

日本看護連盟 スローガン

## 「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」



石田議員の  
国会・委員会での活躍

令和7年度  
**岩手県看護連盟 通常総会 開催**

令和7年6月28日(土)

トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)中ホール 11:00~13:00

### Contents

岩手県・日本看護連盟会長／岩手県看護協会会長あいさつ	②
国会議員国政報告	③
研修会報告／選挙Q&A	④
青年部支部活動報告	⑤
令和7年度 総会プログラム・予算(案)	⑥
令和7年度 事業計画(案)	⑦
入会案内／令和7年度研修会予定	⑧



岩手県看護連盟  
ホームページ

### 2025年度会員数

2025年2月28日現在

看護連盟会員 … 1,235名

賛助会員 …… 101名



## 会長挨拶

岩手県看護連盟会長  
小林 長子

会員の皆様には、巳年という新しい年をご健勝にてお迎えのことと存じます。

また、現場では、3月の年度末を迎え新年度のスタートに向けてお忙しい毎日をお過ごしのことと推察致します。

日頃の連盟活動へのご理解とご支援に感謝申し上げます。

岩手県看護連盟は、令和6年度の活動で特に力を入れてきたのは、連盟の“見える化”です。研修会での講話・青年部の学校訪問・看護協会地域別懇談会への参加、盛岡管内病院看護管理者懇談会への参加など機会あるごとに連盟のお話をし、さらに、HPもリニューアルして“見える化”を図ってきました。なぜ看護協会と看護連盟があるのか、また、なぜ看護職代表を国政の場へ送るのか、看護の専門職である皆様には正しく理解して頂きたいと思っています。

2040年問題、人生100年時代など看護における課題が山積します。地方においては喫緊の課題です。この解決のためにも看護協

会・看護連盟・看護職国会議員・地方議員と連携・協働して行くことが大事になります。「現場の声」を届けて下さい。みんなで岩手の未来の医療・看護を考えて行きましょう。

昨年6月に青年部委員会が「支部」として認定され、自主的に活動を開始しました。残念なのは、地区支部に若い世代の会員が少なく、情報共有が出来ていないことです。令和7年度の課題になります。

会員数は毎年減少してきています。ピーク時には約2,600名であった会員が昨年末で、約1,400名と大幅な減少となり、活動も制限せざるを得なくなってきています。専門職であればこそ、自分たちのことは自分たちで解決していかなければなりません。皆様の看護協会と看護連盟への入会をお待ちしております。

本年も皆様が、お健やかにご活躍できることを祈念いたします。

※6月28日(土)の午前中に、石田まさひろ議員が来県します。その後に通常総会を開催しますので、多くの会員皆様のご参加をお待ちしております。



## ごあいさつ

日本看護連盟会長  
高原 静子

明けましておめでとうございます。

会員の皆様に心より新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、年明け早々能登地震、そして日向灘地震、豪雨災害など、自然災害の多い年でした。災害時においても、人々のいのちとくらしを守るために活動する看護職、そして、多くの制約の中、地域社会で医療チームの一員として力を尽くしておられる看護職の皆様に、深く敬意を表します。その献身的な活動が、国民一人ひとりのいのちとくらしを守り、社会の健康を支える原動力となっています。

今年度は、2025年を目途として推進されてきた社会保障制度、医療制度の改革の達成年を迎えます。病院完結型から地域完結型へ、治す医療から治し支える医療へと地域包括ケアシステムの深化が期待されているところです。

2040年に向け少子高齢化の進展、人口減少、生産年齢が急減する社会において、医療の機能分化と連携推進、医療・介護人材の確

保と育成、デジタル技術に対応した改革を進めることが喫緊の課題であり、看護もより一層の柔軟な対応が求められます。さらに、2040年を見据えた、新たな地域医療構想は、病院のみならず、かかりつけ医機能や在宅医療、医療・介護連携等を含めた地域の医療提供体制全体の構想として検討が進められています。

日本看護連盟は、都道府県看護連盟・看護協会、看護職国会議員、看護を支えていただいている国会議員の皆様とともに力を合わせ、看護職一人ひとりがその力を十分に発揮できる働きやすい職場環境の確保、処遇改善等に取り組んでまいります。

今年度は「乙巳(きのとみ)の年」です。「乙巳」の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。

本年が皆様にとって、健康で実りの多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

今年もどうぞよろしく願い申し上げます。



## ごあいさつ

公益社団法人岩手県看護協会会長  
相馬 一二三

皆様には、日頃より当協会の事業の推進にご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

どちらの施設でも新年度の準備で慌ただしい毎日のことと拝察いたします。

昨年は、どちらの施設でも「人材確保が困難」「夜勤をする人がいない」など多くの課題を抱えながら取り組んだ1年間であったと思います。それでも、看護管理者はじめ看護職員の皆様は、創意工夫しながら看護の使命にご尽力をいただきました。ご尽力いただいたことに改めて敬意を表します。

昨年は当協会では、地域別懇談会の終了後に「看護管理者との懇談会」を開催いたしました。当日参加できなかった看護管理者の方とも情報共有をさせていただきましたが、看護提供体制のヒントを得る機会になりましたと感想をいただきました。看護管理者として悩んでいることは皆同じであり、情報交換することにより課題解決

の糸口になると実感いたしました。

2040年に向けて生産年齢人口がますます減少し、看護の担い手不足が深刻化するとされています。看護は、言うまでもなくあらゆる年代を対象に健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、最期までその人らしい生活ができるよう支援することを目的としています。今後、さらに看護職一人ひとりの能力向上や看護業務の効率化が必要になります。そのためにも、知恵を結集し「1+1=2」ではなく、その何倍にもなることを信じ皆様と共に「看護の底力」を発揮し取り組んでまいりたいと考えています。

さて、岩手県看護連盟・岩手県看護協会の会員が徐々に減少しています。理由の一つに「入会していてもメリットがない」と退会される方もあります。大きな職能団体に所属しているからこそ、自身の安全が担保(看護職の地位向上・職場環境の改善など)されていることを再認識し、看護専門職として社会貢献に努めてまいりましょう。

最後になりましたが、岩手県看護連盟のますますの発展を祈念し、ごあいさつとさせていただきます。

## 文部科学大臣 衆議院議員 あべ 俊子

## 主な活動

(10月1日から現在の大臣公務)

- 国民スポーツ大会開会式に出席、挨拶
- ブラジルで行われたG20教育大臣会合に出席
- 令和6年度文化功労者顕彰式に出席、挨拶
- 令和6年秋の勲章・褒章伝達式に出席、挨拶
- 大西卓哉宇宙飛行士と意見交換
- 日中韓スポーツ大臣会合に出席

あけましておめでとうございます。今年も新しい年を迎えることができたこと、大変喜ばしく思います。

前回の衆議院総選挙では厳しご審判をいただいた中、あべは第二次石破内閣において再度、文部科学大臣を拝命し、これまでに「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応や不登校の課題、過疎地における学校の存続問題、看護教育のあり方、地域に残る人材育成などに取り組むことができました。これも常日頃、みなさまからのご支援とご指導をいただいているお陰です。心から感謝申し上げます。

かつてないスピードで世の中のあり方が変わり、不確実性や複雑性を増す時代において、人材育成のための教育は国の基(もと)と信じて、みなさまの声を聴かせていただき、日々努力してまいります。看護は、命を慈しみ、大切な人を護るための知識と技術が学べる素晴らしい仕事であると、次世代に胸を張って伝えられるよう看護職の地位向上や環境改善に皆様と共に全力で取り組んで参ります。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



## 参議院議員 石田 まさひろ

## 主な活動

- 第217回通常国会開会
- 予算委員会
- 厚生労働委員会
- 予算・税制に関する政策懇談会
- 障害児者の情報コミュニケーション推進に関する議員連盟
- 訪問看護サミット2024
- 日本看護連盟 中央役員会
- ブロック別看護管理者など政策セミナー
- 都道府県看護連盟 ポリナビ、研修会、国会見学など

岩手県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

岩手県内の各地をご訪問させていただき、多くの皆様からお話を伺いました。刻々と変化する現場の課題を伺う中、人口減少時代に突入した今、「量を守り、質を追求する」ための看護政策の必要性を強く感じました。新しい年を迎え、地域の医療を守り抜き、時代に即した看護政策実現のため更なる邁進を決意し、心を新たにしています。

国会においては予算委員会委員と厚生労働委員会委員、国会対策委員会副委員長を拝命しました。医療・介護への更なる支援を得られるよう、令和7年度予算の成立や厚生労働政策の実現に向け、尽力して参ります。

本年も看護連盟・看護協会と連携しながら、寄せられたご意見等、国政の場に繋げて参ります。引き続き、国政の場で活動するため、皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。



## 参議院議員 友納 理緒

## 主な活動

- 参議院自民党 特別総会
- 内閣府大臣政務官就任
- 令和6年秋の叙勲伝達式
- 女性・平和・安全保障(WPS)議事会人ネットJAPAN会合
- 衆・内閣委員会(所信挨拶)
- 青年局 エチオピア視察発表(アフリカの保健医療の現状について)

岩手県看護連盟の皆さま、こんにちは!

内閣府大臣政務官となり約5か月が経過しました。弁護士は司法、国会議員は立法、政務官は行政に携わるお仕事です。看護職の働く環境を整え、安心して働いていただくために、あらゆる立場でかかわることができることは大変嬉しいことです。法律や法律に基づく制度が皆さまのもとに行き渡るように、適切にPDCAサイクルを回しながら取り組んでまいります。

看護職の処遇改善、人材確保、働く環境整備、ハラスメント、業務効率化などの看護・医療に関する諸問題には、引き続き、石田まさひろ先生と力を合わせて取り組みます。

看護の現場の声を国政に! 初心を忘れず目の前の課題に1つ1つ丁寧に向き合います。引き続きご支援をよろしくお願い致します。



祝 内閣府大臣政務官  
就任



共立医科器械  
株式会社



共立ヘルスケアHD  
株式会社

株式会社  
ケア・テック

株式会社  
アイシーシー・  
SPサポート

物流管理  
共立  
サポートセンター

共立グループは「共立ヘルスケアHD株式会社」を中心とするグループ経営を展開しております。

共立医科器械  
株式会社

「地域とともに生きるを支える企業でありたい」

〒020-0013 岩手県盛岡市愛宕町15-9  
TEL 019-623-1205 FAX 019-653-5301



株式会社  
アイシーシー・  
SPサポート

「医療・福祉・衛生の分野のプロフェッショナル」

〒020-0842 岩手県盛岡市湯沢16地割15-8 ケア・テック2F  
TEL 019-601-4102 FAX 019-601-4103



株式会社  
ケア・テック

「医療と福祉のトータルケア」

〒020-0842 岩手県盛岡市湯沢16地割15-8  
TEL 019-638-2877 FAX 019-638-2878



共立医科器械(株)  
共立  
サポートセンタ

「在庫保管環境・入出庫管理業務のプロフェッショナル」

〒020-0813 岩手県盛岡市東山2丁目3-12  
TEL 019-652-8988 FAX 019-623-4161



## 会員研修会

- 開催日：令和6年11月16日（土） ●会場：アイーナ812研修室
- テーマ：「フィジカルアセスメントを学ぼう～急変時対応～」
- 講師：盛岡赤十字病院 クリティカルケア認定看護師 生内 秋子 先生
- 参加者：80名

幹事 井上 祐子

現場で働く看護師が、急変時の観察ポイントや優先順位を確認し看護実践に活用できるよう具体的な事例を検討しながら学びを深めることができました。「異常を早期に認識」し心停止に陥る前に治療介入することの重要性を理解しました。ショックの重症度や分類についても教えていただき、実際の事例でどのように判断し対応するかグループワークで考えることができました。また、SBARを用いて緊急性が伝わる報告の仕方について理解することができました。施設や地域で働く看護師の方も参加されていましたが、それぞれの立場で急変時の対応の重要性を認識することができました。急変時対応はいざとなった時にできるのか不安ですが、このような研修で自信につなげていきたいと思えます。これからも会員の皆様に役に立つ研修を企画していきますので、参加してみたい研修がありましたらご希望をお寄せください。



## 岩手県看護連盟・岩手県看護協会共催 看護管理者研修会

- 開催日：令和7年2月15日（土） ●会場：アイーナ812研修室
- 講演1：「災害看護 ～自施設の災害への備えは大丈夫～」  
講師：岩手医科大学附属病院 副看護部長  
認定看護管理者 日本DMAT隊員 高橋 弘江 先生
- 講演2：「看護の未来。求められる看護政策とは」（動画講演）  
講師：参議院議員 石田 まさひろ 先生
- 参加者：108名

幹事 千葉 樹里

講演1.「災害看護」では、看護管理者として危機管理意識を日頃から持つことが大切であり、災害時に看護管理者として備えるべきことについて経験を踏まえながらご講義いただきました。災害に備えBCP作成の必要性や、日常できないことは災害時にもできないため、教育や訓練は地道に継続的に行うことが大切であることを学ぶことができました。アンケートからも自施設ですべきことがわかったとの感想が聞かれ、看護管理者として災害対策を考える貴重な機会となりました。

講演2.「求められる看護政策とは」では、コロナ禍における看護師の処遇改善や、法律の整備に繋がる政策提言など、国会で総理大臣と講師が討論している映像は、とても心強いものでした。また、全国を訪問して看護の課題を7つに纏め、「看護の量」を守り「看護の質」を高め、現場で改善できるところは整えて行き、看護の満足感が得られ、未来の看護に繋がる政策を進めて行く情熱を感じた講演でした。



## 教えて! 選挙

### 第6回 選挙期日後の あいさつ行為の 制限



Q ▶ 選挙後は、選挙に協力してくれた人にお礼を伝えていいの？

A ▶ 誰でもあっても(候補者・有権者・選挙区以外の者)有権者に対して当選または落選に関してのあいさつ(お礼)をすることは制限されます。お礼のあいさつを文書で配布、郵送、掲示すること、後援会による祝賀会、慰労会の開催は禁止されています。(公職選挙法178条)

## 青年部支部役員研修会

- 日 時：令和6年10月19日（土）10：00～
- 会 場：アイーナ804（B）会議室

青年部 浦田 琳

役員研修会では、連盟青年部支部の活動について、日本看護連盟幹事 岡山堯憲さん、青森県青年部支部長 横濱岳さん、青年部支部役員8名と情報意見交換をしました。岩手県議会議員から高橋こうすけ議員、松本雄士議員の参加も頂きました。

意見交換では、連盟＝政治・選挙という難しいイメージをもっている方が多いと思うが、研修会のあり方を既存の型にはめず、自由な討論でモチベーションをあげる場に変えていくことなどで、まずはそのイメージを払拭することが重要だと話し合われました。「現場で今、当たり前だと思っていることを変えて行く。自分たちのために変えることができる時代」という思いが共有できました。参加頂いた議員からは、「声をあげること、動くことで自分たちが安心できる場を作っていく」と励ましの言葉を頂きました。看護学校・施設訪問、研修会などで今後も連盟活動を、若手の私達も盛り上げていきたいと思えます。



## ポリナビワークショップinいわて（若手会員研修会）

- 日 時：令和6年10月19日（土）13：30～
- 会 場：アイーナ804（B）会議室
- テーマ：「2040年問題を含む、現在から未来に向けての問題提起と解決方法の提案」
- 講 師：日本看護連盟 青年部担当幹事 岡山堯憲 先生 ● 参加者：49名（役員含む）

青年部 遠藤 広真

2040年問題を軸に起こる問題の原因の一つに、人口減少による働き手不足があり、生産年齢人口の捉え方の変化や、リスキングによるスキルアップが推奨されている社会状況の説明がありました。看護職の賃金実態の話もあり、政治的に問題解決に取り組み、医療職の給与表が見直されたことへの理解も深まりました。これらの内容を踏まえ、看護の未来に向けた問題点をグループワークで抽出し、解決方法を検討しました。その結果、看護職に求められるものとして「看護職の資質の向上」「医療・看護DXの活用による業務の簡略化」「効率化を図る持続可能な看護のあり方」とまとめました。現状の問題点だけでなく、将来予測されている問題点を認識することや、看護政策の動向を知ること、看護の未来を「待つ」のではなく「つくる」ための視点を持つことが必要であることが共有できました。各県看護連盟青年部との交流活動をされている岡山幹事との時間は有意義であり、常に我々看護職のために活動している方であると痛感しました。



短い時間でしたがグループワークでは、様々な意見を聞くことができ解決策を議論することができました。現状を把握し、同じ問題に直面している同職種、同年齢の方々との議論は共感することが多く、それと同時に同じ悩みを抱えていることが認識できました。来年も開催を企画しております。多くの方の参加をお待ちしております。

## 出前講座

- 日 時：令和6年11月21日（木）14：30～
- 場 所：岩手県立宮古高等看護学院

青年部支部長 忍 和明

青年部支部では、看護連盟の活動を学生のうちから知ってもらい、学生会員の獲得と、将来の新規入会につなげるため、専門学校で出前講座を実施しています。今回は宮古支部長と支部幹事長も同行してくださいました。3年生を対象に、看護師の賃金が高業種や医療職と比べてどうかを説明し、労働環境改善に尽力している国会議員の紹介をしました。また、青年部が全国会議への参加や議員との意見交換、研修会の企画・開催を行っていることを伝え、青年部の魅力をアピールしてきました。さらに、看護師として働く中での喜びや苦勞を共有し、学生の関心を引くことができました。講座は好評で、アンケートでも高い評価を得ました。「種をまき、育て、未来に投資」していくことはきっと素晴らしい未来につながっていくと思えます。



# 令和7年度 岩手県看護連盟 通常総会プログラム（案）

- 日 時：令和7年6月28日(土) 11:00～13:00
- 会 場：トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)中ホール

10:55	オリエンテーション
11:00	開 会 物故会員への黙祷 挨拶 岩手県看護連盟 会長 来賓祝辞 日本看護連盟 会長 岩手県看護協会 会長 自由民主党岩手県連合会 会長
	来賓紹介 祝電披露
11:30	議長団選出 報告事項 1. 令和6年度 通常総会報告

- 2. 令和6年度 全国会長会等報告
  - 3. 令和6年度 事業報告
  - 4. 令和6年度 決算報告及び監査報告
- 審議事項
- 第1号議案 令和7年度スローガン(案)
  - 第2号議案 令和7年度事業計画(案)
  - 第3号議案 令和7年度予算(案)
  - 第4号議案 役員選出(案)
- ※新役員、新支部長・退任役員挨拶

綱領宣言  
連盟の歌

13:00 閉 会

## 石田まさひろ参議院議員 来県!!

令和7年6月28日(土) 10:00～11:00

トーサイクラシックホール岩手に石田まさひろ議員がいらっしゃいます。  
多数のご来場をお待ちしています。

## 令和7年度 予算(暫定予算案)

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

※令和7年2月1日現在

### 【収入の部】(△=減)

(単位：円)

項 目	7年度予算(案)	6年度予算額	増 減	備 考
1 会 費	3,283,000	4,440,000	△ 1,157,000	・正会員@3,000円×1067名 ・賛助会員@1,000円×82口
2 助 成 金	8,000,000	8,000,000	0	
3 寄 附 金	0	0	0	
4 雑 収 入	40,000	40,000	0	広告料
5 繰 越 金	4,981,885	5,899,327	△ 917,442	
合 計	16,304,885	18,379,327	△ 2,074,442	

### 【支出の部】(△=減)

項 目	7年度予算(案)	6年度予算額	増 減	備 考
1 会 議 諸 費	1,800,000	2,400,000	△ 600,000	日本看護連盟通常総会、岩手県看護連盟通常総会等
2 事 業 費	7,000,000	7,600,000	△ 600,000	看護連盟いわて(年2回発行)研修会、セミナー等
3 運 営 維 持 費	7,400,000	8,300,000	△ 900,000	
4 予 備 費	104,885	79,327	25,558	
合 計	16,304,885	18,379,327	△ 2,074,442	

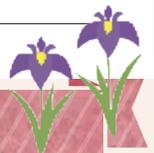
※ 費目間の流用は、役員会の承認を得ることである。

# 2025(令和7)年度 岩手県看護連盟事業計画(案)

## 重点目標:見える活動、行動する会員、確かな組織づくり

目的	目 標	方 針
政治力・政策実現力の強化	1. 看護職国会議員の支援	1) 第27回参議院議員選挙における組織内候補予定者の知名度を拡大し、国政に送る。 2) コンプライアンス(法令遵守)に基づく政治活動等の推進 3) 応援する会との連携 4) 獲得目標数の達成(県全体・支部) 5) 看護職国会議員への支援と連携
	2. 看護政策の実現	1) 看護連盟・看護協会・看護職国会議員との連携強化 2) 看護現場の声の収集 3) 職域支部活動
	3. 看護を理解する国会議員への支援	1) 県選出国会議員との連携
	4. 地方議員との連携強化	1) 県議会議員・市町村議員との連携
	5. 地方議員擁立と支援	1) 地方議員候補者の発掘
組織力の強化・拡大	1. 会員数の増加	1) 会員目標数の設定 2) 入会促進 ①一般看護職の入会促進 ②看護管理者・教育者の入会促進 ③協会役員の入会促進 ④看護職賛助会員・学生会員の入会促進 ⑤一般賛助会員の入会促進 3) 非会員に対しての情報発信 4) 退会者の防止 5) 看護連盟会費納入方法の検討
	2. 看護連盟・看護協会の連携・協働	1) 日本看護連盟との連携 2) 北海道・東北ブロック協議会の連携促進 3) 岩手県看護協会との連携強化
	3. 組織体制の強化	1) 看護連盟組織の活性化 2) 支部組織の活性化、支部と施設の連携強化 3) 財政の健全化と適正化
	4. 若手会員の育成	1) 青年部支部の主体的活動促進の支援 2) 看護系教育機関との連携の支援
	5. 看護連盟活動の強化及び周知	1) 広報活動の強化と充実 2) 会員に向けた研修の充実 3) 看護管理者との連携強化
	6. 関係団体との連携・協働	1) 医療関係団体との交流促進 2) 支援団体・支援企業との交流
会員の福祉の充実	1. 災害時の被災会員の支援	1) 被災地看護職等への支援
	2. 慶弔への対応	1) 連盟内規に基づく対応
	3. 諸問題への対応	1) 会員の安全の保障

ホームページ「会員専用ページ」2025年4月1日より変わります。



私たちは、働く皆様を  
「快適な眠り」で支えます。

東洋羽毛について  
詳しくはこちらをご覧ください



東洋羽毛北部販売株式会社  
〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井1-29-13

仙台営業所  
☎0120-023-337

現場の声で未来をつくる

# 看護連盟入会募集

## 2025年度受付中

身近な方にも  
入会を  
おすすめ下さい!

仲間の輪を  
広げましょう!



看護連盟は看護協会の提言した政策を実現するために  
国政に代表を送る役割を担っています

会員目標数

# 2,500名

2024年度  
会員数1,463名

●年会費

正会員・特別会員	8,000円 (日本看護連盟5,000円・岩手県看護連盟3,000円)
看護職 賛助会員	1口1,000円2口以上
一般 賛助会員	1口1,000円1口以上
学生会員	無料

メール・FAX・TELで 随時受付中!

### 令和7年度 岩手県看護連盟 研修会計画 (上半期)

研修会名	開催日	会場	テーマ
県役員・ 支部長研修会	2025/5/17(土) 13:30~15:00	アイーナ810 研修室	「岩手県における看護職員アクションプランを知ろう」
会員研修会 ①講演 ②講話	2025/7/5(土) 13:30~15:00	アイーナ812 研修室	「未来の看護の実践、どうするか」
新規加入会員研修会 ①講演 ②講話	2025/9/6(土) 13:30~15:00	アイーナ803 会議室	「県議会議員と看護連盟の連携について」
ポリナビワークショップ (若手会員研修会)	2025/10/18(土) 13:30~15:00	アイーナ804(B) 会議室	調整中

編集  
後記

木々が若草色に色づく穏やかな季節になりました。岩手にも桜の便りが聞こえてきそうですね。心も新たに迎える令和7年。「7」という数字は古くから幸運の象徴とされています。今年の「7」を「ラッキー7」と心に抱いて、赤い光を胸に、私たちの力で素晴らしい1年にしていましよう。



(広報委員/佐々木 志津子、桑原 美幸、井上 祐子、浦田 琳、大澤 眞子)

切り取り線

### 委任状

令和7年度 岩手県看護連盟通常総会

施設名 \_\_\_\_\_ 支部名 \_\_\_\_\_  
岩手県看護連盟 会長殿

氏名 \_\_\_\_\_ (印)

都合により令和7年6月28日(土)の総会を欠席いたしますので、  
総会における一切の権限を \_\_\_\_\_ 殿に委任いたします。

令和7年 月 日